

Vol.48

2019年8月発行



中谷外科病院広報誌



くまのみ 通信

医療法人 吉備会 中谷外科病院
〒706-0001 岡山県玉野市田井3-1-20
TEL 0863-31-2323
FAX 0863-31-8486
<http://www.nakatani-hosp.jp/>

笑顔で挨拶

令和1年8月1日、中谷外科病院は53歳になりました。現在に至るまで長きにわたり当院を支えていただいた多くの患者様、職員そして関係の皆様方に心より感謝いたします。

医療をとりまく環境は近年大きく様変わりしました。科学技術の進歩はめざましく、iPS細胞やAI(人工知能)が実臨床に導入されるようになり様々な病気の診断や治療への応用が急速に進んでいます。一方少子高齢化に伴う社会構造の変化により、「病気の予防」「緩和ケア」が益々重視されるようになりました。平成から令和へと時代が変わり、世の中の色々なことが日々移ろうなか、医療の現場で変わらないのは「信頼関係の大切さ」です。

痛みや不安を抱える患者さんが、病院受診時にご自身の辛さを医者や看護師にうまく伝えるのはとても難しいものです。人は表情や態度といった「言葉」を使わない意思疎通があって初めて「言葉」による交流が可能となります。医療に従事する者がまずすべきことは、患者様に「笑顔で自分から挨拶する」ことであり、それがお互いの信頼関係の構築と全うな医療への第一歩になると私は思います。

私たちは一期一会を大切に、良好な信頼関係のもとに皆様に安心・安全な医療・看護を提供するよう精進して参ります。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



50周年記念で頂いた
胡蝶蘭です。

令和1年8月吉日

中谷外科病院 院長 中谷 紳

第17回日本消化器内視鏡看護セミナーに参加して



開催日時：令和1年6月23日(日) 9:50～16:00
 開催場所：岡山コンベンションセンター 3Fコンベンションホール
 参加人数：213名(参加者は北海道から鹿児島まで全国より)
 テーマ：『進化する内視鏡医療と内視鏡看護』

6月23日(日)に岡山コンベンションセンターを会場に内視鏡看護の向上の為、実行委員長として内視鏡看護セミナーを開催しました。全国規模のセミナーで事務局を当院におき病院をあげて支援をして頂きました。当院からも4名が参加をして、内視鏡の充実

に役立てています。常に新しい知識・技術・看護を学び、今後も内視鏡を患者様一人一人に「安全・安心・安楽・満足」に提供できるように研鑽を積んで参ります。当院は玉野地区では中心的な内視鏡を実施している施設です。地域の病院として患者様が安心して検査を受けて頂けるように職員一同邁進しておりますので今後とも宜しくお願い申し上げます。

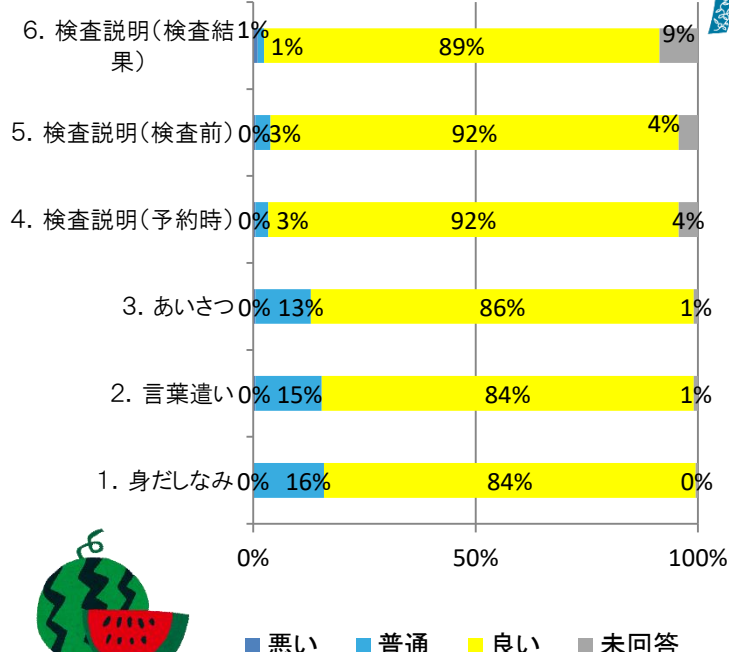
外来看護師 遠部 絹子
 (日本消化器内視鏡学会 消化器内視鏡技師 看護委員会委員)



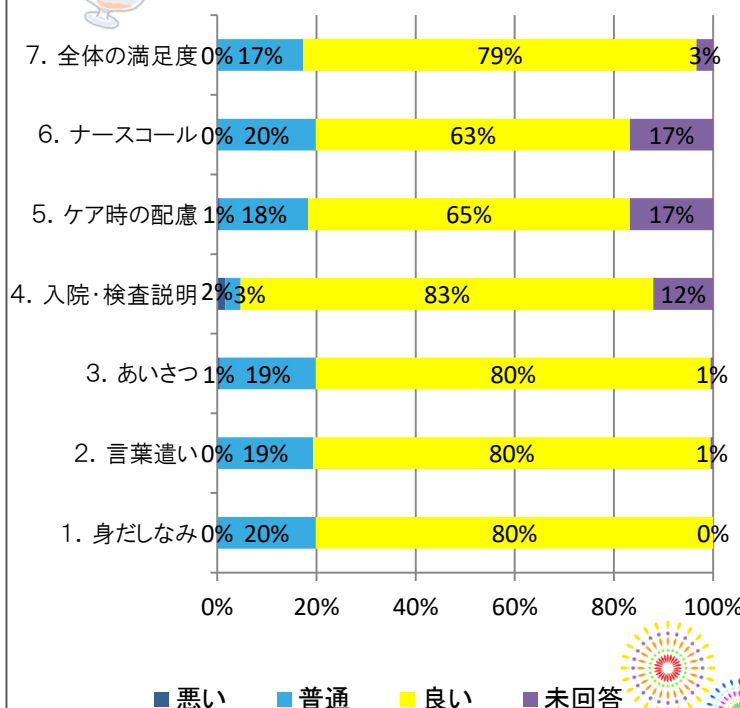
H30年度 退院時アンケート結果

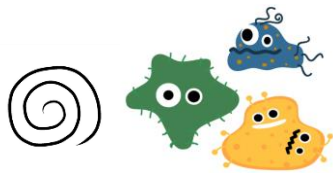
退院時に配布しているアンケートから得られた貴重なご意見が病院施設環境や各部署の業務改善に繋がっています。前年度より一部の患者様へ「連絡ノート」を開始しました。看護師が患者様の様子や連絡事項などを記入し家族様からも返信やコメントを頂戴しており、看護師と患者様家族間のコミュニケーションツールとなっています。患者様から頂戴するご意見を大切に、患者様にとってよりよい入院生活となるよう今後の業務に活かして今後もより充実した取り組んでいきたいと思ひます。下記がH30年度退院時アンケートの集計結果になります。

H30年度短期入院アンケート結果
 (7日以内の入院)



H30年度入院アンケート





食中毒について



日時： 令和1年5月29日(水)13:50～14:20
講師： 松本 英子(管理栄養士)
対象： 全職員
目的： 食中毒について理解を深める
内容： 食中毒事件数の多い原因菌「カンピロバクター」についてグループワークを行いました。問題を解いたり、具体的にこのような食事場面ではどういう対処をとるかなど楽しく学びました。

お

た

っ

し

や

さ

ん

お元気の秘訣

- ①早起き
- ②温泉が好き
- ③お花が大好き(どんなお花でも好き)
- ④好きな言葉『整理整頓』(とにかくきれい好きと娘さん)
- ⑤食事の準備は自分で
- ⑥おしゃれをすること



102歳



横井 フジエさん

1ヶ月に1～2回来院されている、その姿はとても102歳とは思えません。娘さんが付き添っての来院ですが、日常生活を楽しく過ごされている様子が垣間見えます。まだまだ今の生活を満足していないそうで、もっともっと上を目指したいそうです。食事をもっと上手に作れる様になど！！向上心は尽きません。

インタビュー 師長 新田照美



『お薬のおはなし』～おくすりの副作用について～

お薬の副作用には、お薬の使い始めにおきるものと、長期間使い続けたときに起きるものがあります。特に、薬を使い始めた直後から2週間以内に出る副作用は要注意です。

① 時々TV番組で取り上げられるような激しい副作用(アナフィラキシーショックや中毒性表皮壊死融解症など)は別格です。すぐに救急車を呼んで下さい。

② ①以外の副作用で「蕁麻疹」、「喘息発作」、「極端な脱力感」、「痙攣」、「朦朧とする」、「異常行動・言動」などはすぐに対処が必要です。早めに処方医に連絡して下さい。

③ より軽い副作用に「吐き気」、「便秘または下痢」、「眠気」、「倦怠感」などがあります。これらは緊急性がないことが多いので、大丈夫そうなら次の診察まで様子を見て下さい。もし症状が強ければ、処方医に連絡しましょう。

副作用はお薬によって異なります。気をつけていただきたい副作用については、お薬をお渡しするときに薬剤師が説明します。しっかり聞いて下さい。

薬剤師 赤松 由紀子

ようこそ！研修医の先生！



中谷外科病院で地域医療研修をさせていただきました。当初は普段の環境との違いに戸惑いながらも、スタッフの方々に支えられながら無事1ヶ月を終えることができました。玉野市には急性期の総合病院がニーズに比して不足しているように思いますが、それゆえ地域の医療を担う先生方にかかる負担の大きさは想像に難くありません。そのような地域特性下では外科病院とはいえ内科全般、整形外科、時には脳神経外科など幅広い知識を持ち合

わせていなければならない、患者様の全身を診る能力が求められます。その難しさ・責任の重さを今回の研修で痛感し、医師としてまだまだ未熟な私ではありますが大変に鍛えていただけたように感じております。地域の人達に慕われ頼られながら毎日患者様のために尽力されている院長先生に大変感銘を受け、短い間でしたが一緒にできたことを大変嬉しく思います。1ヶ月間本当に有難うございました。

岡山ろうさい病院 初期臨床研修医 水野大輔

日 時： 令和元年6月10日(月)
13時30分～
講 師： 京免 栄美子先生
白浜 洋子先生(笑いヨガリーダー)



笑うと本当に福が来る！
笑いヨガ

院長先生をみんなで『しんちゃ〜ん！！』『は〜い』 わははっ
となりの方から『 素敵ですね！！』に対し『ありがとう！知ってる♡』わははっ
笑いヨガとは『笑う』体操と『ヨガ』の呼吸法を合わせたユニークな『笑う体操』のことだそうです。笑うと免疫力がアップしたり、幸せホルモンがたくさん分泌されたりといい事づくめ！！約30名の参加者で、45分間たくさん声を出して笑いました。

『 やった〜 やった〜 イエ〜イ イエ〜イ 』

みなさんも機会があれば、ぜひやってみてください。心も体も元気になりますよ。

医療相談員 山崎早苗

スタッフのひとりごと

中谷外科病院で働かせていただいて早14年がたちます。その間に3人目の娘を授かり、今では長男も20歳になりました。これまでの間仕事と育児が両立できたのも母の手助けなしではやってこれなかったと思います。母が50年務めてきたこの病院で一緒に働けることに感謝してこれからも頑張ります。

外来看護師 岩崎 朋美

微生物の基礎知識

6月27日に赤十字病院玉野分院 臨床検査技師の堀先生より『微生物の基礎知識』についての勉強会がありました。

その中で私が興味深かったのはインフルエンザについてです。インフルエンザには、インフルエンザ菌とインフルエンザウイルスがあり、まったくの別の物で、インフルエンザ菌に感染してもインフルエンザにはなりません。これは初耳でした。

インフルエンザウイルスは、滑らかな素材の金属製のドアノブや、エレベーターのボタンなどに付着しやすく、アルコールに感受性がある為、擦式消毒や清拭などが効果的だということです。

外来看護師 山口 牧子